

## 令和元年度 建設部の「実行宣言」

作成者 (評価者)	建設部長	長野 功
--------------	------	------

基本方針と使命
<p>“ここに住んでよかった”とっていただけるまちづくりを進めるために、道路、河川、公園等の整備促進、将来における各施設の長寿化や安全対策の強化と日々の維持管理、併せて、地震や台風等の自然災害に備え、安全で安心な生活環境を確保するための基盤整備、災害時の対応等に取り組みます。</p> <p>また、都市計画マスタープランや立地適正化計画、景観計画に基づき土地利用の誘導や規制、歴史・文化等地域の特性を生かしたまちづくりを進めるとともに、今年度からスタートする補助制度に基づき不良空家等除去、狭あい道路の整備促進を図ります。</p>

『松阪市総合計画』 との関わり	2 いつまでもいきいきと（福祉・健康づくり）
	5 安全・安心な生活（防犯・防災）
	6 快適な生活（生活基盤の整備）

平成30年度の評価			
評価基準…S（100%以上）、A（90~99%）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）			
宣言①	安心して住めるインフラ整備と快適な憩いの空間づくりを進めます！	評価	B
<p>【評価理由】</p> <p>土木課は、国や県への要望活動を積極的に行う中で、国道42号松阪多気バイパスと県道鳥羽松阪線の立体交差の工事を実施することとなり、併せて、松阪港の港湾整備においても予算確保につながりました。</p> <p>橋梁の長寿命化事業については、全橋梁の1回目の定期点検業務を終えるとともに、橋梁修繕工事や耐震補強工事を実施しました。</p> <p>床上浸水ゼロをめざした浸水対策については、三重県と連携し三渡川、百々川、愛宕川、名古須川の4河川の床上浸水対策実施計画をまとめるとともに、令和元年度から具体的な対策工事等を実施することとなりました。</p> <p>松阪市総合運動公園内に計画されていたスケートパークの建設については、日本スケートボード協会や松阪スケートボード協会（愛好家）の協力を得ながら日本一の仕上がりと言われるスケートパークが完成し、平成31年3月31日には2018世界選手権金メダルの選手などを迎えオープニングイベントを開催し、平成31年4月2日からオープンすることができました。</p> <p>また、平成30年度には、4つの台風が襲来し道路、河川、公園に被害があったものの、台風時の対応、その後の災害復旧工事等連日連夜の対応を行い市民の安全を確保することができました。しかしながら、道路・河川改良工事や公園建設工事等において、地元調整や用地取得等に時間を要し16事業を令和元年度へ繰越しました。</p>			

## 【部局長シート】

### 【対応方針】

工事等の年度内完成をめざし、年度当初に年間スケジュールをたて、それぞれの事業の進捗管理を徹底します。

#### 宣言②

**安全で快適な生活空間の維持管理に努めます！**

評価

**B**

### 【評価理由】

建設保全課及び北部・西部建設保全事務所は、道路や河川等の施設の老朽化等に伴う自治会からの要望に対して約62%対応しました。併せて、老朽化したガードレールやカーブミラーの修繕及び新設、最近特に要望が多い区画線の引き直しなど交通安全施設整備を実施しました。

また、4つの台風時の対応にあたっては、職員が一丸となり対応をしました。特に、国道166号の法面崩落に伴う通行止めにおいては、西部建設保全事務所が中心となり県と連携し対応にあたりました。

道路や河川等の維持管理にあたっては、施設の老朽化や高齢化などによる影響もあり今後の維持管理に対する課題等があるものの、自治会活動や地域の皆さんの協力を得ながら進めることができました。そうしたことから、平成30年度の道路管理瑕疵による件数は、前年度6件に対し4件少ない2件でありました。

### 【対応方針】

市民や自治会等からの要望に対して、すべての要望に応じることは難しいものの、できるだけ対応できるよう調整等を行います。

#### 宣言③

**「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！**

評価

**S**

### 【評価理由】

住宅課は、平成28年度に策定した「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に基づき、それぞれの事項に取り組む中で、市営住宅使用料（家賃）に関連した利便性係数の見直しにおいては、検討会を立ち上げ内容の検討を行い入居者の方への説明会などを開催し令和元年度から見直しすることとしました。

また、老朽化した市営住宅の住替えにおいては10戸の方に移転していただきました。市営住宅の指定管理者制度の導入に向けた検討については、課内で協議を行うもの引き続き検討するととなりました。家賃の徴収率を上げるための取り組みとしては、早い段階から督促状の送付や電話催促などを行い98%以上の徴収率を達成しました。併せて、滞納家賃の徴収についても積極的に行いました。

### 【対応方針】

市営住宅の家賃徴収、老朽化に伴う住替え等、引き続きS評価を維持できるよう取組を続けていきます。

#### 宣言④

**迅速で正確な事務処理を行います！**

評価

**B**

### 【評価理由】

用地対策課は、境界立会いや用途廃止、事業用地の取得などの業務を行っており、境界立会いにおいては迅速な対応が求められていることから、「申請受理から立ち会い実施まで3週間以内に50%実施する」という目標を立てましたが、平成30年度実施件数282件に対して106件、約37%といった実施状況でした。

平成29年度の実施率33%は上回ったものの、申請者・地元自治会や法務局等での調査に時間を要し、遅れた部分がありました。事業用地の取得については、地権者との交渉に時間を要し、2事業（2筆）を令和元年度に繰越しましたが、42筆の用地取得を行いました。

## 【部局長シート】

【対応方針】 境界立会いにおいては迅速な対応に努めるとともに、事業の進捗にあわせた用地取得に努めます。			
<b>宣言⑤</b>	<b>地域の特性を生かした都市づくりをめざします！</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
【評価理由】 都市計画課は、平成28年度から作業を行ってきました「松阪市都市計画マスタープラン（全体構想・地域別構想）」の中間見直し、「松阪市立地適正化計画」の策定をしました。併せて、松阪駅西地区複合施設の計画を推進するために、62名の参加者を募り駅西ワークショップを5回開催し松阪駅西地区複合施設基本構想を作成しました。 また、景観重点地区指定に向けた取り組みや良好な景観を後世に残すため市内小・中学生を対象としたまつさか景観絵画コンクールなどを実施し、松阪市のすばらしい景観を保存・活用、PRをするために取り組みました。しかし、景観重点地区における歴史的まちなみ修景整備事業補助金の要件を満たす申請はありませんでした。屋外広告物事業では、許可事務、措置命令、指導事務、指定事務を行い、屋外広告物適正句間中に市内一円のパトロールを実施しました。			
【対応方針】 「松阪市都市計画マスタープラン」等の各種計画に基づいて、引き続き取組を続けていきます。			
<b>宣言⑥</b>	<b>公共施設の営繕工事を適正かつ着実に実施します！</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
【評価理由】 営繕課は、粥見小学校や鎌田中学校の建設、福社会館の改修工事、地区市民センターや小中学校のトイレ改修、また、公共施設のブロック塀の緊急対応など、平成30年度は、135件の工事や委託業務の発注を行い、前年度からの繰越工事分等も含め適正に工期内に完成させることができました。			
【対応方針】 公共施設の営繕工事について、引き続きS評価を維持できるよう実施してまいります。			
<b>宣言⑦</b>	<b>適切かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！</b>	<b>評価</b>	<b>S</b>
【評価理由】 建築開発課は、平成30年度より新たに空家対策係が新設され、空家等の所有者に対してアンケート調査を実施し、空家等の対策を進めるための「松阪市空家等対策計画」を策定しました。併せて、空き家ネットワークみえと連携し空き家無料相談会を開催し相談者からは好評でした。 建築業務は、確認許可申請等を適正に審査を行い処理をすることができました。また、違法な建築物に対しては、現地調査等を行い改善等の指導を行いました。 開発業務は、多くの事前相談に対応するとともに、開発申請等については各課の意見などを聞き審査した上で、許可権者である県に提出しました。併せて、令和2年度からの開発事務権限移譲に向けて、県や関係各課と協議を行い準備を進めました。			
【対応方針】 一過性の業務はなく新たな補助制度等も実施することから、引き続きS評価を維持できるよう取組を続けてまいります。			

【部局長シート】

部局マネジメント方針											
●計画から実行への工程管理 多種多様な事業を効率的に実行するために、主な事業における年間スケジュールを作成し、3ヶ月毎に工程管理を行います。								評価	A		
●情報共有とコミュニケーションの充実 職員間の情報共有とコミュニケーションを図るために、毎朝の朝礼と毎週1回幹部会議を行います。								評価	S		
●ワークライフバランスの充実 職員の健康管理とワークライフバランスの充実を図るために、時間外を前年度より3%削減します。								評価	A		
『松阪市総合計画』関係施策の進捗度											
関係 施策 1	施策番号		施策名								
	2 - ④		地域福祉・生活支援の充実								
	指標 ①	評価指標	市営住宅応募率（応募者数/応募戸数）								
		目標/実績	平成30年度						令和元年度		
			目標	1.0倍以下	実績	1.2倍	評価	B	目標	1.0倍以下	
対応方針	目標達成に向けて調査等を行い目標達成に向けて取り組みます。										
関係 施策 2	施策番号		施策名								
	5 - ⑥		浸水対策の充実								
	指標 ①	評価指標	河川改修（九手川・中川）の整備延長								
		目標/実績	平成30年度						令和元年度		
			目標	1,347m	実績	1,360m	評価	S	目標	1,430m	
対応方針	目標達成に向けて引き続き事業推進を図ります。										
関係 施策 3	施策番号		施策名								
	6 - ④		まちづくりの推進								
	指標 ①	評価指標	“豪商のまち松阪”生き生きプランにもとづく事業の完了								
		目標/実績	平成30年度						令和元年度		
			目標	2項目	実績	1項目	評価	C	目標	3項目	
対応方針	目標達成に向けて引き続き関係者等と連携し事業推進を図ります。										
関係 施策 4	施策番号		施策名								
	6 - ⑤		景観の保全								
	指標 ①	評価指標	景観重点地区の指定数								
		目標/実績	平成30年度						令和元年度		
			目標	4地区	実績	3地区	評価	B	目標	4地区	
対応方針	目標達成に向け、引き続き指定に向けて取り組みます。										

【部局長シート】

施策番号		施策名								
6 - ⑥		道路・公園の整備								
関係 施策 5	指標 ①	評価指標	都市計画道路の整備率							
		目標/実績	平成30年度						令和元年度	
			目標	46.30%	実績	46.30%	評価	S	目標	46.8%
	対応方針	目標達成に向けて引き続き事業推進を図ります。								
	指標 ②	評価指標	橋梁耐震補強の整備数							
		目標/実績	平成30年度						令和元年度	
			目標	44橋	実績	41橋	評価	C	目標	46橋
	対応方針	目標達成に向けて引き続き事業推進を図ります。								
	指標 ③	評価指標	1人当たりの都市公園面積							
目標/実績		平成30年度						令和元年度		
		目標	11.42㎡	実績	10㎡	評価	E	目標	12㎡	
対応方針	事業計画の見直しがあり、指標の見直しを行います。									



令和元年度 「実行宣言」	
宣言①	市民ニーズに対応し安心して住めるインフラ整備を進めます！
宣言②	道路や排水路などの機能保全・維持管理を進めます！
宣言③	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！
宣言④	公共事業用地の速やかな取得をめざします！
宣言⑤	まちの賑わいにつながるまちづくりを進めます！
宣言⑥	工事等の早期発注と適正かつ着実な営繕工事を実施します！
宣言⑦	適正かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！
部局マネジメント方針	
<p>●積極的な情報発信</p> <p>市民のみなさんに建設部の仕事を積極的に情報発信を行うために、「ぎゅうっと松阪」に100回以上アップします。</p>	
<p>●計画から実行への工程管理</p> <p>多種多様な事業を効率的に実行するために、主な事業における年間スケジュールを作成し、3ヶ月毎に工程管理を行います。</p>	
<p>●ワークライフバランスの充実</p> <p>職員の健康管理とワークライフバランスの充実を図るために、時間外を前年度より3%削減します。</p>	

【課長シート】

組織名	土木課	作成者（評価者）	課長 松本 尚久
関係する「実行宣言」	平成30年度	安心して住めるインフラ整備と快適な憩いの空間づくりを進めます！	
	令和元年度	市民ニーズに対応し安心して住めるインフラ整備を進めます！	
関係する『総合計画』施策	5－⑥ 浸水対策の充実		
	6－⑥ 道路・公園の整備		
<b>課の基本方針と使命</b>			
<p>土木課は、市民の「安全・安心な生活」を実現するため、2025年度の床上浸水被害ゼロを目標に三重県と連携し対策実施計画に基づき、中小河川の改修や市街地の排水路整備などを進めるとともに、自然災害に対しては、警戒態勢を強化し、迅速な災害復旧に努めます。</p> <p>併せて、市民の「快適な生活」を実現するため、安全な道路と市民が憩う公園のあるまちをめざし、道路の整備や橋りょう等の耐震・長寿命化とを進めるとともに、スポーツの機会やコミュニティの場を創出する松阪市総合運動公園の建設や都市公園の適切な管理を進めます。</p> <p>これらの取組により、市民が安全で安心な、また快適な生活が営まれるまちづくりをめざします。</p>			

<b>平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）</b>
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合雨水対策10か年戦略事業費では、百々川流域の2箇所を含む3箇所の事業に着手いたしました。また、松阪地区浸水対策検討会において、三渡川、百々川、愛宕川、名古須川の4河川の床上浸水対策実施計画書を策定し、令和元年度から計画に基づき工事に着手する調整を行いました。</li> <li>・道路整備単独事業費では5路線の整備が完了し、狭隘箇所の拡幅によって緊急車両の通行が可能となり、地域の安全性、防災性の向上が図られた。また、交差点や踏切付近の改良を行い、通学児童や歩行者の安全性の向上が図られました。</li> <li>・橋りょう長寿命化事業費では、3橋の修繕工事が完了し、橋梁の耐用年数の大幅な引き延ばしを図り、ライフサイクルコストの抑制に取り組みました。</li> <li>・総合運動公園建設事業費では、スケートパークの整備が完了し、スポーツの機会の創出が図られました。また、平成31年3月31日には大勢の方に参加いただきオープニングイベントを開催いたしました。</li> <li>・平成30年度には4つの台風が襲来し、連日連夜の災害時の対応を行うとともに、道路橋りょう及び河川災害復旧事業費では、被災した施設の復旧を行い、市民の安全を確保することができました。</li> </ul>
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松阪六軒線道路改良事業費では、県事業が繰越したことにより期末の事業進捗率が100%に対し89%となりましたが、令和元年度には完了見込みです。</li> <li>・準用河川九手川改修事業費では、護岸整備延長が80mに対し40mとなったが、全体完了年度は計画通り進捗できる見込みです。</li> </ul>

【土木課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度					令和元年度						
				予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針	予算額(千円)	決算額(千円)	活動指標			方針
1	三重県社会基盤整備協会負担金	一般	6-⑥	2,071	/	協会に関係する会合への参加			→ 現状維持	1,516	/	協会に関係する会合への参加			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						5回	6回	S				5回			
2	道路橋りょう一般経費	一般	6-⑥	8596	/	コスト削減率（H29年度当初予算対比）			→ 現状維持	8,740	/	工事実施橋りょう数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1%	-31%	C				2橋			
3	道路整備単独事業費	一般	6-⑥	187,100	/	事業完了予定路線数			→ 現状維持	226,700	/	事業完了予定路線数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2路線	5路線	S				2路線			
4	星合舞出線道路改良事業費	一般	6-⑥	20,000	/	期末の事業進捗率			↗ 拡大	50,000	/	期末の事業進捗率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						35%	35%	S				60%			
5	松阪六軒線道路改良事業費	一般	6-⑥	90,000	/	期末の事業進捗率			↘ 縮小	22,000	/	期末の事業進捗率			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	89%	B				100%			
6	国道42号松阪多気バイパス関連整備事業費	一般	6-⑥	3,000	/	事業実施箇所			→ 現状維持	3,000	/	事業実施箇所			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1箇所	1箇所	S				1箇所			
7	最終処分場関連道路等整備事業費	一般	6-⑥	45,000	/	事業実施路線数			→ 現状維持	34,000	/	事業実施路線3路線の整備率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2路線	2路線	S				33%			
8	橋りょう長寿命化事業費	一般	6-⑥	160,000	/	工事実施橋りょう数			→ 現状維持	180,000	/	工事実施橋りょう数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						2橋	3橋	S				2橋			
9	河川一般経費	一般	5-⑥	671	/	コスト削減率（H29年度当初予算対比）			→ 現状維持	601	/	事業着手箇所数（総合雨水対策）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1%	0%	A				2箇所			
10	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金	一般	5-⑥	19,000	/	工事施工延長（他事業区間を含む）			→ 現状維持	15,000	/	工事施工延長（他事業区間を含む）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						185m	190m	S				150m			

【土木課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度					令和元年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
11	河川改良単独事業費	一般	5-⑥	89,600	/	年間の整備延長			→ 現状維持	89,300	/	年間の整備延長			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						145m	141m	A				265m			
12	県施行海岸環境整備事業負担金	一般	6-⑥	600	/	活動指標			→ 現状維持	600	/	活動指標			→ 現状維持
						海開き前の環境整備（海岸清掃）実施回数						海開き前の環境整備（海岸清掃）実施回数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1回	1回	S		1回							
13	準用河川九手川改修事業費	一般	5-⑥	60,000	/	活動指標			→ 現状維持	48,000	/	活動指標			→ 現状維持
						年間の護岸整備延長						年間の護岸整備延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				80m	40m	C		55m							
14	浸水対策事業費	一般	5-⑥	69,500	/	活動指標			→ 現状維持	122,000	/	活動指標			→ 現状維持
						河川及び排水路の整備延長						河川及び排水路の整備延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				80m	80m	S		255m							
15	総合雨水対策10か年戦略事業費	一般	5-⑥	55,000	/	活動指標			→ 現状維持	50,300	/	活動指標			↗ 拡大
						事業着手箇所数						事業着手箇所数			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				2箇所	3箇所	S		2箇所							
16	県施行松阪港改修事業負担金	一般	6-⑥	43,045	/	活動指標			→ 現状維持	40,045	/	活動指標			→ 現状維持
						岸壁の延長						岸壁の延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				24m	4m	E		24m							
17	港湾管理一般経費	一般	6-⑥	300	/	活動指標			→ 現状維持	288	/	活動指標			→ 現状維持
						要望活動の実施						岸壁の延長			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1回	2回	S		24m							
18	県施行街路事業負担金	一般	6-⑥	27,000	/	活動指標			→ 現状維持	47,667	/	活動指標			→ 現状維持
						年間の事業進捗率						年間の事業進捗率			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				2%	2%	S		2%							
19	都市公園維持管理事業費	一般	6-⑥	182,809	/	活動指標			→ 現状維持	207,396	/	活動指標			→ 現状維持
						定期的な清掃等の実施						定期的な清掃等の実施			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				月1回	月1回	S		月1回							
20	都市公園整備事業費	一般	6-⑥	26,000	/	活動指標			→ 現状維持	23,500	/	活動指標			→ 現状維持
						四阿建て替え						四阿建て替え			
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
				1棟	2棟	S		2棟							



【土木課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度					
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標		方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標		方針
21	公園一般経費	一般	6-⑥	523	/	活動指標		→ 現状維持	574	/	活動指標		→ 現状維持
						都市緑化推進運動のPR活動					期末の整備率 (総合運動公園建設事業)		
						目標	実績				評価	目標	
					2回	2回	S				97%		
22	総合運動公園建設事業費 (単独)	一般	6-⑥	71,875	/	活動指標		→ 現状維持	61,413	/	活動指標		→ 現状維持
						期末の整備率					期末の整備率		
						目標	実績				評価	目標	
					90%	91%	S				97%		
23	総合運動公園建設事業費 (補助)	一般	6-⑥	360,000	/	活動指標		→ 現状維持	271,000	/	活動指標		→ 現状維持
						期末の整備率					期末の整備率		
						目標	実績				評価	目標	
					90%	91%	S				97%		
24	道路橋りょう災害復旧事業費	一般	6-⑥	2,000	/	活動指標		→ 現状維持	2,000	/	活動指標		→ 現状維持
						被災した施設の復旧率 (国災は除く)					被災した施設の復旧率 (国災は除く)		
						目標	実績				評価	目標	
					100%	96%	A				100%		
25	河川災害復旧事業費	一般	5-⑥	2,000	/	活動指標		→ 現状維持	2,000	/	活動指標		→ 現状維持
						被災した施設の復旧率 (国災は除く)					被災した施設の復旧率 (国災は除く)		
						目標	実績				評価	目標	
					100%	100%	S				100%		
26	公園施設災害復旧事業費	一般	6-⑥	/	/	活動指標		/	2,000	/	活動指標		→ 現状維持
						被災した施設の復旧率 (国災は除く)					被災した施設の復旧率 (国災は除く)		
						目標	実績				評価	目標	
											100%		
27	島田北10号線道路新設事業費	一般	6-⑥	0	/	活動指標		↘ 縮小	0	/	活動指標		↗ 拡大
						県との事業調整協議回数					休止		
						目標	実績				評価	目標	
					3回	2回	C				-	-	-

【課長シート】

組織名	建設保全課		作成者（評価者）	課長 阪井 正幸
関係する「実行宣言」	平成30年度	安全で快適な生活空間の維持管理に努めます！		
	令和元年度	道路や排水路などの機能保全・維持管理を進めます！		
関係する『総合計画』施策	5－① 交通安全対策の充実			
	5－⑥ 浸水対策の充実			
	6－⑥ 道路・公園の整備			
<b>課の基本方針と使命</b>				
<p>建設保全課は、市道や生活道路、小河川、排水路などの機能保全・管理を行います。</p> <p>側溝修繕や道路舗装修繕、カーブミラー、防護柵設置、道路区画線などを行うことにより、市民からいただく多種多様な要望に対する取組及び安全で快適な生活空間の維持に努めます。</p> <p>道路や排水路等施設の老朽化が進んでいる中で、地域住民の要望に対する十分な調整や協議及び地域間バランス、優先順位を考慮した事業実施や、交通安全対策事業として事故が多発している箇所など、危険箇所に対し交通弱者に配慮した交通環境の迅速な整備、また、不法占用物件に対する指導に努めます。</p>				

<b>平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）</b>	
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・河川維持修繕事業では、地元要望632件に対し391件、62%を実施しました。</li> <li>・道路清掃等事業では、松阪駅松阪港線・国道地下道など48箇所の清掃業務を行いました。</li> <li>・道路台帳整備事業では、市道認定・変更や道路工事により12.8Kmの台帳補正を行いました。</li> <li>・街路樹剪定等事業では、大黒田日野町線・岡本平成藤之木線など642本の剪定を行いました。</li> <li>・交通安全対策施設整備事業では、道路反射鏡・防護柵設置など94箇所の交通安全対策を実施しました。</li> <li>・道路施設点検事業では、道路標識・道路照明灯28箇所の点検を実施しました。</li> <li>・道路事故対策緊急整備事業では、外側線引き直し・交差点内カラー舗装など26箇所の事故防止対策を実施しました。</li> <li>・中川駅東西連絡地下道管理事業では、適切な保守点検を行い良好なエレベーターの運転をしました。</li> <li>・樋門・樋管等管理事業では、樋門関係の修繕依頼5件、ポンプ施設要望など6件のすべてに対応しました。</li> <li>・調整池管理事業では、除草要望など7件のすべてに対応しました。</li> <li>・水防一般経費では、6月に松阪市水防訓練を実施しました。</li> <li>・水防施設災害復旧事業費では、台風21号で全壊した水防倉庫を年度内に復旧しました。</li> </ul>	
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全施設修繕事業では、ガードレールの修繕延長200mの目標に対し修繕が必要とする箇所が少なかったことから164mとなりました。</li> <li>・道路維持一般経費では、道路パトロール延長として建設保全課が管理する車両の走行距離の合計として90,000kmの目標に対し年度途中で故障車もあり76,834kmとなりました。</li> <li>・水防施設管理事業では、災害などに備えて土のう袋補充数15,000袋を予定していましたが、使用できる在庫が約47,700袋あり7,600袋の補充となりました。</li> </ul>	

【建設保全課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度					令和元年度						
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	交通安全施設修繕事業費	一般	6-⑥	10,888	/	安全な道路環境の整備を図るガードレール修繕延長			→ 統合	-	/	※道路維持修繕事業費へ統合			/
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						200m	164m	B				-	-	-	
2	道路維持修繕事業費	一般	6-⑥	350,011	/	要望に対する実施達成率			→ 現状維持	366,598	/	要望に対する実施達成率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						65%	62%	A				65%			
3	道路清掃等事業費	一般	6-⑥	13,247	/	生活環境整備の一環として清掃を行う箇所数			→ 現状維持	13,937	/	生活環境整備の一環として清掃を行う箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						48箇所	48箇所	S				48箇所			
4	雪寒対策道路維持事業費	一般	6-⑥	2,987	/	雪寒時の道路維持管理を図るため積雪回数を上回る凍結防止対策回数			→ 現状維持	2,987	/	雪寒時の道路維持管理を図るため積雪回数を上回る凍結防止対策回数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1回	0回	-				1回			
5	道路台帳整備事業費	一般	6-⑥	20,000	/	台帳を補正した路線の延長			→ 現状維持	20,000	/	台帳を補正した路線の延長			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						10km	12.8km	S				10km			
6	街路樹剪定等事業費	一般	6-⑥	14,994	/	大きくなり過ぎた周辺へ悪影響を及ぼしている樹木の剪定本数			→ 現状維持	15,772	/	大きくなり過ぎた周辺へ悪影響を及ぼしている樹木の剪定本数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						500本	642本	S				500本			
7	交通安全対策施設整備事業費	一般	5-①	31,230	/	分かりやすく安全な道路環境の整備を図る交通安全対策実施箇所数			→ 現状維持	31,230	/	安全な道路環境の整備を図る交通安全対策実施箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100箇所	94箇所	A				100箇所			
8	道路施設点検事業費	一般	6-⑥	7,909	/	道路附属施設点検箇所数			→ 現状維持	7,909	/	道路附属施設点検箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						30箇所	28箇所	A				116			

【建設保全課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度					令和元年度						
				予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針	予算額 (千円)	決算額 (千円)	活動指標			方針
9	最終処分場関連維持修繕事業費	一般	6-⑥	6,000	/	側溝整備の延長			*** 定期	-	/	-			*** 定期
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						0m	0m	-				-	-	-	
10	道路事故対策緊急整備事業費	一般	5-①	10,000	/	事故防止対策箇所数			→ 現状維持	10,000	/	事故防止対策箇所数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						15箇所	26箇所	S				20箇所			
11	中川駅前・連絡道管理事業費	一般	6-⑥	16,550	/	エスカレーターの良好な稼働日数（維持管理不備を原因とする停止日数を除いた日数）			→ 現状維持	13,945	/	エスカレーターの良好な稼働日数（維持管理不備を原因とする停止日数を除いた日数）			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						365日	365日	S				365日			
12	道路維持一般経費	一般	6-⑥	34,194	/	安定した道路維持専用車両の運行			→ 現状維持	34,194	/	安定した道路維持専用車両の運行			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						90000 km	76834 km	B				90000 km			
13	河川維持修繕事業費	一般	5-⑥	65,804	/	要望に対する実施達成率			→ 現状維持	61,030	/	要望に対する実施達成率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						65%	62%	A				65%			
14	樋門・樋管等管理事業費	一般	5-⑥	23,178	/	樋門管理者からの不具合に関する報告や修繕要望を受けた際の対応率			→ 現状維持	23,841	/	樋門管理者からの不具合に関する報告や修繕要望を受けた際の対応率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
15	調整池管理事業費	一般	5-⑥	8,356	/	調整池に関する不具合に関する要望等を受けた際の対応率			→ 現状維持	8,758	/	調整池に関する不具合に関する要望等を受けた際の対応率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
16	水防施設管理事業費	一般	5-⑥	2,152	/	水防倉庫の活用状況を示す土のう袋の補充数			→ 現状維持	7,728	/	水防倉庫28箇所の土のう袋の備蓄枚数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						15,000袋	7,600袋	C				55,300袋			

【建設保全課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
17	水防一般経費	一般	5-⑥	1,057	/	水防法に関する研修への参加及び訓練実施の回数		→ 現状維持	204	/	水防法に関する研修への参加及び訓練実施の回数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				S	1回			
18	水防施設災害復旧事業費	一般	-	補正	/	水防倉庫の早期復旧		— 終了	-	/	-		/		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						年度内復旧	3/15完成				S	-		-	-

【課長シート】

組織名	住宅課	作成者（評価者）	課長 田畑 吉隆
関係する 「実行宣言」	平成30年度	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！	
	令和元年度	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！	
関係する『総合計画』施策	2-④ 地域福祉・生活支援の充実		
<b>課の基本方針と使命</b>			
<p>住宅課は、昭和40年代以降を中心に市営住宅の整備を進め、現在では改良住宅等も含め管理戸数が1,673戸となっており、住宅に困窮する低所得者等に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。</p> <p>基本業務として、市営住宅及び関連施設の管理、住宅の入退去事務、使用料の徴収、不正入居、悪質滞納者への対応などを行うとともに、平成28年度に提出された「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」により頂いた事項の実現に向け継続して事業の推進を図っており、令和元年度は指定管理者制度導入の適否を整理していきます。</p>			

<b>平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）</b>
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅管理運営事業では、現年度家賃徴収率の目標とした98%以上を達成し、市営住宅老朽化対策に伴う住替えは宝塚団地など10戸を行いました。また、利便性係数の見直しについては、検討委員会にて見直し（案）を検討し、家賃が上昇する団地での説明会やパブリックコメントを行い、平成31年4月からの実施に向け関係規則の改正を行いました。</li> <li>・市営住宅維持修繕費では、ベランダ帯防水について40戸の目標に対して64戸を実施しました。</li> <li>・市営住宅修繕工事費では、目標どおりベランダ手摺塗装、物置改修工事を合わせて122戸を実施しました。</li> <li>・公営住宅ストック改善事業費では、社会資本整備交付金（国補）を利用した事業であり、その交付額に合わせて施工棟数を調整し、屋上防水、外壁改修、給水システム（受水槽）改修工事を11棟で実施し概ね目標を達成しました。</li> </ul>
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般管理経費では、過年度滞納分の徴収率3%の目標に対し2.4%の実績となり、主な滞納理由が債務者の経済的困窮等によるもので、返済可能な資力には不安定さが顕在することから、目標値には至りませんでした。</li> </ul>

【住宅課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	市営住宅管理運営事業費	一般	2-④	51,337		①現年度家賃徴収率の向上		→ 現状維持	48,257		①現年度家賃徴収率の向上		→ 現状維持		
						②市営住宅老朽化対策としての住替え					②市営住宅老朽化対策としての住替え				
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
				①98%	①98%	A									
				②11戸	②10戸										
2	市営住宅維持修繕費	一般	2-④	103,878		ベランダ帯防水		→ 現状維持	102,849		ベランダ帯防水		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						40戸	64戸				S	40戸			
3	市営住宅修繕工事費	一般	2-④	51,691		物置改修、ベランダ手摺塗装		→ 現状維持	49,500		物置改修、ベランダ手摺塗装		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						122戸	122戸				S	117戸			
4	市営住宅ブロック塀等対策事業費	一般	2-④	1,024		ブロック塀改修箇所		→ 現状維持	800		ブロック塀改修箇所		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1箇所	1箇所				S	2箇所			
5	公営住宅ストック改善事業費	一般	2-④	65,136		屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修		→ 現状維持	82,486		屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						12棟	11棟				A	8棟			
6	(住宅新築資金等貸付事業特別会計)一般管理経費	特別	2-④	806		滞納繰越分の徴収率		→ 現状維持	806		滞納繰越分の徴収率		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						3%	2.4%				B	2.5%			

【課長シート】

組織名	用地対策課	作成者（評価者）	課長 山路 伸之
関係する 「実行宣言」	平成30年度	迅速で正確な事務処理を行います！	
	令和元年度	公共事業用地の速やかな取得をめざします！	
関係する『総合計画』施策	5-⑥	浸水対策の充実	
	6-⑥	道路・公園の整備	
課の基本方針と使命			
<p>用地対策課は、市所管の公有財産（道路、河川、水路等）の境界確認、それらに伴い発生した用途廃止、寄付等の登記業務、公共用地買収業務及び公拡法申請業務を迅速で正確な事務処理を行うことを基本方針とします。</p> <p>いずれの業務も近年の土地に関する権利意識の高まりがあることから、関係者の方々に、ご理解、ご納得をいただけるようきめ細やかな対応を心掛けます。</p> <p>また、各職員が土地に関する専門的な知識はもちろん、道路や河川、不動産登記、税など様々な知識が必要となってくることから、各種研修に参加しスキルアップに努めるとともに、関係各課との情報共有を図り組織力の向上に努めていきます。</p>			

平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地買収業務では、「大足久保線」、「上川道23号線」、「上川道2号線」、「準用河川九手川」の道路河川改良工事、買収予定6筆に対して4筆の買収が完了しました。</li> <li>・ 「立野通り高田線」、「小舟江20号線」、「谷線」、「本郷1号線」、「脇谷2号線」、「井村殿村線」、「立野排水路」の道路及び河川改良工事について寄付予定の38筆を交渉の結果、38筆寄付にて取得しました。買収及び寄付での用地取得は44筆中42筆となりました。（取得率95%）</li> <li>・ 未登記物件の処理については2件の登記が完了しました。</li> </ul>
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地買収業務において、「上川道2号線」「準用河川九手川」につきましては現在も地権者と買収協議を継続交渉中です。</li> <li>・ 用地対策事業による境界立会の実施状況としましては、境界立合い申請受理から立会実施の目標とする期間、3週間以内に境界立会を実施できたものは、実施件数282件に対して106件、約37%の実施率でした。</li> </ul> <p>境界立会を行うにあたり、申請者・地元自治会・関係隣接地の所有者等の日程調整に時間を要するものや、申請者の都合で立会日を指定する場合がありますその時点で3週間を超えている状況がありました。</p> <p>また、申請地によっては、過去の立会資料の確認や、古い関係書類（分筆図・旧図）、法務局等での調査にかなりの時間を要することや、立会いと合わせて土地の寄付等があるケースもあり、立会い日程が目標である3週間以内に決まらない状況がありました。</p>



【用地対策課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	用地対策事業費	一般	7-①	12,930	/	申請受理から立ち合い実施まで3週間			→ 現状維持	12,884	/	事業計画用地の100%取得			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						50%	37%	B				100%			

【課長シート】

組織名	都市計画課		作成者（評価者）	課長 笠井 賢一
関係する 「実行宣言」	平成30年度	地域の特性を生かした都市づくりをめざします！		
	令和元年度	まちの賑わいにつながるまちづくりを進めます！		
関係する『総合計画』施策	6-④ まちづくりの推進			
	6-⑤ 景観の保全			
課の基本方針と使命				
<p>都市計画課は、まちづくりの推進として、松阪市の都市計画に関する基本的な方針である「松阪市都市計画マスタープラン」の中間見直しを行うとともに、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考えに基づき、公共交通のネットワーク形成とあわせて、居住機能や医療、商業等のさまざまな都市機能の誘導を図り、持続可能な都市の実現をめざす「松阪市立地適正化計画」を平成31年3月に策定し、両計画に基づくまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、松阪駅を中心とした中心市街地には、公共施設の配置を中心とした実効性のある土地利用計画を平成29年5月に策定し、施設配置計画で位置づけした松阪駅西地区複合施設計画を進めるにあたり、平成30年度は、若者を含めた幅広い年齢層の方を募り駅西ワークショップを開催し、「松阪駅西地区複合施設基本構想」を平成31年3月に策定しました。今年度は「松阪駅西地区市場動向調査業務」を行い、民間活力導入に向けたヒアリング調査を行い、事業に向けた今後の方針や課題等を取りまとめます。</p> <p>景観の保全として、自然環境に恵まれた景観、また城下町の都市構造基盤、主要な街道が集まる交通の要衝として繁栄した歴史と文化に培われた歴史的なまち並み、これらの美しく豊かな景観を、次世代へ継承していきます。策定後10年が経過する「松阪市景観計画」は、その運用等における課題とその解決方法を引き続き検討し、より良い景観形成を実現するために松阪市景観計画の見直しを進めていきます。併せて、景観重点地区候補地の地区指定に向けた地域の景観まちづくり活動を支援していきます。</p>				

平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画審議会事業では、「松阪市都市計画マスタープラン・松阪市立地適正化計画」について、審議会から意見聴取を行い策定を行いました。また、「天花寺テクノランド地区」地区計画の変更にあたり、審議会で原案どおりの決定の答申をいただき変更の決定手続きを行いました。</li> <li>・都市景観推進事業では、景観重点地区候補地におけるまちなみ保存委員会などに参画し、重点地区指定に向けた取り組みを行いました。また、良好な景観を後世に残すため、次世代を担う市内小・中学生を対象に「まつさか景観絵画コンクール」を開催し、599人からの応募があり、市民の方々に観覧してもらうよう市内6か所で応募作品を展示しました。</li> <li>・都市計画マスタープラン策定事業では、「松阪市都市計画マスタープラン・松阪市立地適正化計画」について平成28年度から作成を進め、学識経験者などからアドバイスを頂き、庁内検討委員会、庁内作業部会を開催するとともに、三重県など関係機関との調整も図り、計画案に対する意見募集、意見交換会などを経て平成31年3月に計画を策定しました。</li> <li>・中心市街地整備事業では、松阪駅西地区複合施設計画を進めるにあたり、中心市街地のまちづくりに興味のある方を募集し、駅西ワークショップを5回開催し、「松阪駅西地区複合施設基本構想」を平成31年3月に策定しました。</li> </ul>
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市景観推進事業では、景観重点地区における「歴史的まちなみ修景整備事業補助金」の交付要件を満たす申請がありませんでした。</li> </ul>

【都市計画課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	屋外広告物事業費	一般	6-⑤	2,885	/	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数		→ 現状維持	3,080	/	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						2回	2回				S	2回			
2	都市計画審議会事業費	一般	6-④	378	/	審議会開催時の可決を経る。		→ 現状維持	379	/	審議会開催時の可決を経る。		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				S	100%			
3	都市景観推進事業費	一般	6-⑤	9,563	/	まつさか景観絵画コンクール作品応募者数		→ 現状維持	9,558	/	まつさか景観絵画コンクール作品応募者数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						500人	599人				S	500人			
4	都市計画マスタープラン策定事業費	一般	6-④	7,279	/	適正なスケジュール管理		— 終了	-	/	-		/		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				S	-		-	-
5	都市計画基礎調査事業費	一般	6-④	4,650	/	調査項目の達成率		— 終了	-	/	-		/		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				S	-		-	-
6	都市計画図作成事業費	一般	6-④	/	/	都市計画図閲覧数		/	29,000	/	都市計画図閲覧数		— 終了		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						4,700回						4,700回			
7	都市計画変更事業費	一般	6-④	4,180	/	都市計画変更回数		→ 現状維持	4,100	/	適正な納品率		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				S	100%			
8	都市計画一般経費	一般	6-④	5,363	/	先進地視察		→ 現状維持	4,999	/	都市計画全事業の目標達成率		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				S	100%			
9	中心市街地整備事業費	一般	6-④	1,945	/	①活き生きプラン推進会議の開催回数 ②駅西ワークショップの延参加者		→ 現状維持	5,066	/	①活き生きプラン推進会議の延べ参加者数 ②ヒアリング業者数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						①5回 ②175人	①4回 ②244人				A	①60人 ②10社			

## 【課長シート】

組織名	営繕課	作成者（評価者）	課長 山本 直弘
関係する 「実行宣言」	平成30年度	公共施設の営繕工事を適正かつ着実に実施します！	
	令和元年度	工事等の早期発注と適正かつ着実な営繕工事を実施します！	
関係する『総合計画』施策		—	
<b>課の基本方針と使命</b>			
<p>営繕課は、市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正かつ着実に実施することを使命とし、誰もが安全・安心に使用できる公共施設の構築や快適で機能の充実した施設とすることをめざして、設計及び工事を行うことを基本方針としています。</p> <p>令和元年度は、鎌田中学校や春日保育園の改築、旧福祉会館の解体工事、小中学校や市民センターのトイレ改修工事などがあり、事故の無いように安全対策を十分に行い、安全で着実に工事が完了できるよう努めます。また、既存の建築物においては、空調設備設置、トイレ等の改修やブロック塀緊急対策工事など、より安全により快適に使用できるようにします。併せて、工事等の早期発注に努めます。</p>			

### 平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

#### 【達成できたこと】

・営繕管理事業では、粥見小学校改築や豪商のまち松阪観光交流センター新築、松阪市北部学校給食センターの新築に係る嬉野中学校や三雲中学校の給食配膳室棟増築、また、教育施設を中心に地震によるブロック塀の倒壊被害を防止するための緊急対策工事など、工事108件 約58億円、委託業務27本 約2億円の発注を行い、平成29年度からの繰越事業も含め、工事105件 約32億円、委託業務29本、約1億2千万円を工期内に無事完了することができました。更に、北部学校給食センター建設や小中学校空調設備整備などの業務支援として、工事3件、委託業務4本、約5億円の事業に関わりました。

#### 【達成できなかったこと】

・なし

【営繕課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	営繕管理事業費	一般	7-①	4,979	/	営繕業務を適正に実施する。		→ 現状維持	5,091	/	営繕業務を適正に実施する。		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	100%				S	100%			

## 【課長シート】

組織名	建築開発課		作成者（評価者）	課長 関岡 輝明
関係する 「実行宣言」	平成30年度	適切かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！		
	令和元年度	適正かつ円滑な建築・開発行政・空家等対策を行います！		
関係する『総合計画』施策	5-④ 防災・危機管理対策の充実			
	6-④ まちづくりの推進			
課の基本方針と使命				
<p>建築開発課は、建築確認・許可等の建築基準法に関する全ての事務を行っています。</p> <p>建築行政は、建築確認審査はより厳格かつ円滑な審査が求められており、また毎年法改正もあり、道路・建築・開発相談及び指導等においても、年々複雑になってきていることもある中で、適正に審査・指導に努めます。</p> <p>令和元年度より、狭あい道路の解消により、住みよいまちづくりの促進に努めます。</p> <p>空家等対策においては、「松阪市空家等対策計画」（平成31年2月策定）に基づき、空家等の適切な管理・利活用・解消の促進に努めます。</p> <p>平成29年度に実施した建築確認電子台帳整備事業により、建築計画概要書等の開示請求を、迅速に対応し、市民サービスの向上につなげていますが、今年度はアスベスト調査対象物件を、建築確認情報と関連づけを行い、アスベスト調査台帳を整備します。</p> <p>開発指導については、令和2年度からの開発許可等の権限移譲に向けて業務を進めていきます。</p>				

### 平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

#### 【達成できたこと】

- ・建築確認申請等においては、306件の審査を行い適正に処理することができました。
- ・空家等対策事業において、平成29年度末に、市内全域の空家等の外観調査を行い、その後、平成30年度には、所有者等対象に、管理実態や利活用等の意向調査を行い、また、多岐にわたる課題があるため、庁内の関係部局による対策連携会議、地域住民やさまざまな知識を有する専門家で構成する、対策協議会の意見等を踏まえて、空家等対策計画を策定しました。
- ・建築開発事業では、道路・開発相談等の迅速化に努めており、事前相談等の処理日数を、7日以内に処理をすることを目標にし、相談内容の重複等により、遅くなった事案もありましたが、事前相談約1,400件に対して約1,300件（93%）の処理ができました。

#### 【達成できなかったこと】

- ・空家等対策事業において、373件の相談ありましたが、その内の257件を対応がしたものの、所有者等の特定ができず対応ができなかった部分があります。

【建築開発課】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	建築開発事業費	一般	6-④	9,680		事前相談等の処理日数		↑ 拡大	19,853		事前相談等の処理日数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						92%	93%				S	93%			
2	建築確認電子台帳整備事業費	一般	6-④			活動指標			22,134		活動指標		— 終了		
						目標	実績				評価	アスベスト調査台帳の整備			
												目標		実績	評価
3	空家等対策事業費	一般	5-④	13,009		活動指標		↑ 拡大	5,732		活動指標		↑ 拡大		
						空家等対策計画の策定					相談処理率（処理件数/相談件数）				
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
4	狭あい道路整備促進事業費	一般	6-④			活動指標			3,200		活動指標		↑ 拡大		
						目標	実績				評価	補助件数			
												目標		実績	評価
5	不良空家等除却促進補助金	一般	5-④			活動指標			3,000		活動指標		↑ 拡大		
						目標	実績				評価	補助件数			
												目標		実績	評価
6	狭あい道路整備促進補助金	一般	6-④			活動指標			16,800		活動指標		↑ 拡大		
						目標	実績				評価	補助件数			
												目標		実績	評価